

六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校

平成 25 年 5 月 10(金)No. 3

E-mail isobesho@itoigawa.ne.jp

URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>

運動会



自分の言葉で伝えよう みんな笑顔になろう 元気な体をつくろう

自立を助ける関わり方 自立を妨げる関わり方 校長 高橋 雅史

もちろん個人差はあるでしょうが、現代の子どもたちは、とかく次のように言われがちです。

- 自分で判断して行動しようとしな
- 人に依存したり助力を求めたりする傾向が強い
- 集団の中での人間関係づくりが苦手である
- 自立心や主体性がたりない

これが、子どもたち全体の傾向かどうかは、難しいところですが、もし、本当にそういう傾向があるとすれば、親・教師など周囲の大人達と子どもとの関わり方もその原因の一つかもしれません。

長い間、現場の教師経験のある木川達爾さんは次のように語っています。少し長いのですがそのまま引用します。

個々の子どもに対して、自分の力でできるところにまで立ち入って教えたり、助力を与えたりしていることがあるとすれば、それは、明らかに、結果として、依頼心を育てることにもつながるものであり、問題だといわなければならない。

敗戦直後の日本には、水筒の栓にするコルクがなかったのであろうか。当時の栓は、そのほとんどが、堅い木でつくった栓であった。だからその水筒の栓は、子どもの歩行中に、水分を含んで膨らみ、その結果、子どもの力では、なかなか取りにくくなっていたのである。

次々にやってきては、「先生、水筒の栓を取ってください」と、水筒を差し出す子どもに対して、私は、一人ひとりの子どもの顔を見ながら、それぞれの子どもの力を考えて、適当に栓をゆるめてから、「あとは、自分で取れるはずだから、自分で取りなさいね」と、励まして渡したことであった。・・・中略・・・このような私のやり方に不満の女の子が一人いて、私に向かって、「先生は不親切ね、私のお母さんは、水筒の栓を取って、コップについて、さあ、おあがりと言ってくださいるんですよ」と言い、不満を率直に顔に表したものである。

木川達爾「現代の教育課題と名言の教え」(文教書院 1994.7.1 P.P.129~130)より *アンダーラインは校長がつけました。

子どもが自分の力で栓を取るような関わり方”と“水筒の栓を取って、コップについて「さあ、おあがり」をする関わり方”。さて、自分のこれまでの関わり方はどちらだったかと反省させられます。

子どもたちがこれからの人生の中で、周りの人から何かをしてもらいながらでしか生きていけないようでは困ります。例え子どもから、「〇〇は不親切ね」と言われようと、自立心をはぐくむことを念頭においた関わり方、指導・支援が何より大切だと思います。





“書く”ことは考えをまとめること!



磯部小学校では、今年度の学習の柱として昨年度から継続して「書く」学習活動を重視しています。

子どもたちのまわりには、テレビやインターネットなどによってもたらされる、かつては考えられなかったような膨大な情報があふれています。現代は大した苦勞をせず情報を手にすることができ、さらには携帯電話やインターネット、メールなどを使って、相手のことについて深く考えることもなく情報が発信でききてしまいます。そこには、相手のことを配慮しながら自分の思い・考えをまとめ、伝えようという意識はあまりありません。



しかし、子どもたちが「書く」ことを中心とした学習活動に取り組む時、伝えたい相手や目的を考え、どうすればよく伝わるかを意識しながら自分の考えをまとめ、整理してから書き出すという順序をとります。それが、子どもたちの表現力・思考力・判断力を伸ばし、豊かな感性や情緒をはぐくむことにつながっていきます。

このことが磯部小学校で「書く」学習活動を大切にする大きな理由です。今年度は、子どもたちの書いた作品を学校だよりで少しずつ紹介していきたいと思います。

2年生の日記紹介



2年生は1年生の時から、毎日「終わりの会」の時間に日記を書く活動を続けてきました。継続して取り組むと表現力や感性が磨かれていくことがよくわかります。

「つかだめい」四月十八日
きょう、ひるやすみに一りんしゃを一しようけんめいれんしゅうして、できなかつたけどあきらめないでがんばりました。
一年生にまけないようになんばります。三年生になつたらできるようになんばつていきます。

「くぼたのあ」四月十二日
五じかんめにずこうをしました。
火ようびのつづきをして、

おわたらはなさんがはんぶんしかおわっていなかつたからおてつだいをしました。
つぎの日のずこうの日になにをするのかたのしみです。

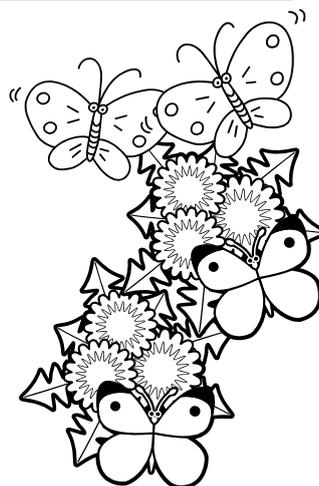
「さとうたけと」四月二日
きょう、おとうさんと五月人ぎょうを出しました。
むずかしかったけど一しようけんめいたてました。
一年ぶりに人ぎょうにあえてうれしかったです。

「いけしまあんな」四月二三日
きょうの四じかん目にかるたをかきました。

わたしは、「ちようちよさんおはなばただけ おどってる」をかきました。五七五にできてよかったです。

「ほさかりゆうが」四月八日
きょう、入学しきをしました。とても一年生がはりきっていました。
ともだちをいっぱいづくりたいです。
あしたのたいいくがたのしみです。
これからなかよくしたいです。

* ページ数の関係で今回は五人だけです。他の人の分は別の回で紹介します。



4月の磯部小学校

4月25日に「1年生を迎える会」をしました。児童会の「六つの実スマイル委員会(総務委員会)」が中心になって企画し、縦割り班単位での楽しいゲームや1年生へのインタビューなどを行いました。

1年生も学校に慣れて、学習に遊びに毎日楽しく元気に取り組んでいます。



「1年生を迎える会」

六年 塚田 美海

私は、1年生を迎える会を終えて良かったところがあります。

一つ目は、班の1年生と仲良くできたという所です。私は1年生を迎える会は、1年生の人たちと仲良くなるための会だと思うので、仲良くなれてよかったです。そして、名前を覚えてくれたのでよかったです。

二つ目は、仲間を助けるといふ気持ちになれたことです。まだ、入学したばかりで、顔と名前がいつちしなかつたと思うけど、「救急車」のゲームでは仲良く楽しく、班の人たちを助けられたと思います。

私はこの二つの良いことがあったからこそ、「1年生を迎える会」が成功したと思います。それに来週にはさっそく、班活動の「遠足」があるので、班のみんなと仲良く、楽しく、協力して遠足にいきたいです。

そして、班の1年生だけでなく、ほかの1年生と仲良くして、この1年間で1年生が私の名前をおぼえてくれるといいです。



五月二日に全校遠足に出かけました。雨の天気予報が、子どもたちの願いで晴れにかわりました。

五月三日(木)の日記から

三年 いとうりく

さいしよに雨がふっていたので、「遠足にいけないか」と思っていたら、晴れて、みんなでしゅっぱしました。少し風があり、少しさむかったけど、みんな話していたら暑くなってきました。

せんのう公みんかんでチヨコレートをくれたので、もらって食べました。さか道を歩いていたら、お父さんが見えました。ぼくは長ぐつだったから、お父さんから(ズツクを)うけとってはきかえました。ぼくの家の前を通ってとく合に向かって歩きました。歩いていたら休む場所が見えました。

：〈中略〉：

その後、とく合は帰る時に歩き、せんのうは車で送ってもらいました。

みどりがきれいだったことと、さくらの花がきれいだったことと、くうきがきれいだったことで、少しつかれたけど、遠足はとてもよかったです。楽しかったです。

校長室から

気持ちのよいできごと



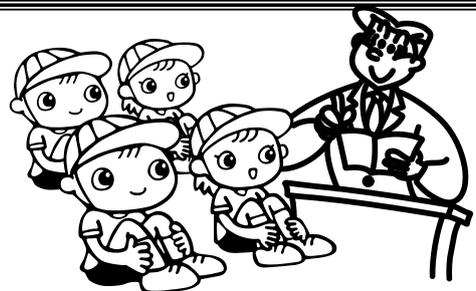
昼休みに校舎内を回っていた時のことです。体育館でたくさんのお子どもたちが遊んでいました。体育館の隅で2、3台の自走車が自走車スタンドにうまく立てられずに倒れたり傾いたりしてしていました。ボールが当たって倒れたのか、返し方が悪かったのかは分かりません。近くで遊んでいた3年生のお子どもたちに「あの自走車を直してくれませんか？」と頼んだら「はい」という返事で、すぐに駆け寄って直してくれました。

図書室では、たくさんのお本が斜めになったり倒れたりしてしていました。本を読んでいたお子どもたちに、「みなさんが図書室を出るときに、倒れている本がきちんとなっていると、校長先生はとってもうれしいです」と声をかけて図書室を出ました。昼休みの後に図書室に行ってみると、どの書棚のお本もきちんとなっていました。図書委員会のお子どもたちがしてくれたのか、本を読んでいたお子どもたちがしてくれたのか分かりませんが、とても幸せな気持ちになりました。

こんな時には、しばしば「ぼくがしたんじゃないです」、「私は関係ないです」という声が聞こえてきそうな気がする時代ですが、自走車にしても本にしても私は「さすが磯部のお子どもたち！」と感心しました。「他の人のためや公共のために自分ができることをする」、これからも忘れてほしくない大切な心だと思います。

始業式の話から

始業式の式辞で5つのことを大切にしてほしいということをお話し、さらに、より真剣に話を聞くための約束ごとをお伝えしました。話の聞き方の約束とは、「①足の裏を床につける、②背筋を伸ばす、③話している人をきちんと見る」の3点です。



始業式から1か月経ったので、大切にしてほしい5つの事と話の聞き方の約束がどの程度できたかを子どもたちに聞いて確認してみました。(1年生は入っていません)

		とてもよくできた	まあまあよくできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった
1	きもちのよいあいさつをしましょう	66.7%	28.1%	3.6%	1.8%
2	「はい」という返事をしましょう	29.9%	63.2%	7.0%	0%
3	くつは手でそろえましょう	68.4%	24.6%	7.0%	0%
4	いすはきちんといれましょう	70.2%	24.6%	5.3%	0%
5	人をきずつけてはなりません	35.1%	56.1%	8.8%	0%
	話の聞き方の約束を守れたか	33.3%	63.2%	3.6%	0%

もう少しがんばってほしい内容もありますので、これからも意識づけを図りながら取り組ませていきたいと思っています。「きもちのよいあいさつ」「はい」の返事「くつをそろえる」「いすをいれる」「人を傷つけない」「きちんと話を聞く」どれもとても大切にしたい内容だと考えます。ご家庭・地域でも大切にしていいただければと思います。